

農薬と液体肥料の混合散布の利点

これまで

- ・ドローンによる液体散布では、
- ・これまで農薬のみが対象とされてきました。

これから

- ・アメリカの最先端資材は、
- ・農薬と液体肥料の混合散布を可能にしました！

メリット

- ・農薬散布と同時に液体肥料(バイオスティミュラント)も散布でき、大幅な省力化につながります。
- ・また、農薬と液体肥料の相乗効果も期待できます。

ドローン散布に適する肥料の特長と利点

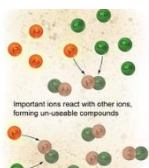
なぜ、通常の液体肥料はドローン散布に適さないの？

それは、肥料焼けを起こしやすいからです！

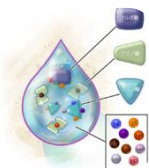
ドローン散布では、タンク容量が小さいため、広い面積に散布しようとする、高い濃度の溶液で散布する必要があります(10倍希釈以下など)。通常の液肥では、濃度が高すぎるため、肥料焼けをおこしがちです。

アメリカの最先端資材リボックスの製品は、高濃度散布でも肥料焼けを起こしません。

なぜ、リボックス資材は肥料焼けを
起こさないの？



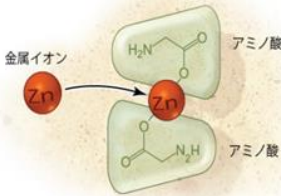
各肥料(栄養)成分が有機物(バイオスティミュラント)で処理されているからです(キレート化等)。



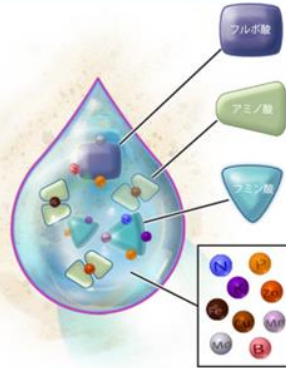
そのため、高濃度障害(肥料焼け)を起こしません。

高濃度散布を可能にするリドックス技術

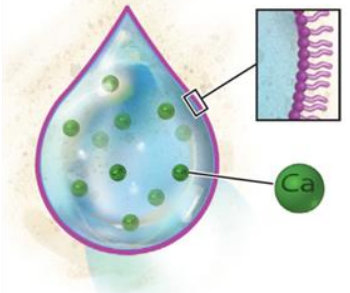
アミノ酸キレーション



- ・アミノ酸キレーション
- ・アミノ酸で陽イオン(二価)の栄養素をはさむ



- ・コンプレクシング(錯体化)
- ・可溶性炭素化合物で陽イオン(一価)や陰イオン栄養素を結合させる



- ・マイクロカプセル化技術
- ・カルシウム、マグネシウム、ケイ素などは界面活性剤でつつむ

通常の液肥の栄養素(電気を帯びたイオン)は反応がしやすいですが、上の図にあるように、リドックスの資材は有機質のアミノ酸、フミン酸、フルボ酸などの可溶性炭素化合物で結合されており、濃度障害を起こさないよう守られています。

このことは同時に、土壤に散布された場合でも、土壤の他の物質との不都合な結合を防いでくれるので、高い吸収率をもたらします。

ドローン散布に適するリドックス液体肥料

液体肥料として極少水量散布を行うので、葉面施肥になります。

非常に高い吸収効率を持つリドックス資材の主なものは以下の通りです。

製品名	作用(利点)	含有要素
CaSi(シーエーエスアイ)	細胞壁を強くする！ 光合成アップ	カルシウム 10% 二酸化ケイ素 22%
プラチナ	抗酸化作用を強める！ 根の成長促進	N-P-K: 1-7-12 フミン酸 2%
トライプレックス・マイクロ	必須微量元素を供給！ 欠乏を防ぎ、品質改善	Fe 6%, Mn 6%, Zn 6% Cu 2%, B 2%, Mo 0.001%
ダイカップ	ストレスに強くなる！ 糖度、サイズ、色を改善	N-P-K: 0-31-50 抗酸化物質生成促進物質
Rx-780	作物のうま味を増す！	N-P-K: 9-7-9, Mo 0.003% アミノ酸資材

その他、ドローン散布に適する多くの資材があり、用途によって使い分けることができます。